

大隅中 学校だより

令和6年6月26日 発行

第3号

絆
(きずな)

曾於市立大隅中学校

TEL 099-482-0024

FAX 099-482-6543



「変化」する学校教育とスポーツ

校長 馬込 昇

6月11日から地区総体が行われ、校長室には今年は何と団体競技の優勝旗4本が飾られています。その一本一本から、選手の皆さんがこれまで懸命に競技に取り組んできた姿を思い浮かべることができました。生徒たちはそれぞれの競技と立場で成果を残すことができました。県大会に出場する選手の皆さんには、目指す目標に向けて熱中症等に気をつけながら頑張ってもらいたいと思います。

また、新たなことに挑戦を始めていこう、これまで続けてきたことをさらに励んでいこうと決めた生徒の皆さんもいると思います。誰かに言われたからするといった外発的動機づけではなく、自分の内側から湧き上がってくるワクワクを大事にした内発的動機づけが大切で長続きするとされています。理想とする自分をイメージしながら少しずつ近づいていってほしいと願っています。

さて、「教師が教える」から「子供が学ぶ」へ、そして「一斉授業」から「個別最適な学び」「協働的な学び」へ変わり続けている学校です。これらは相互に学び合うことの重要性を示しています。

そしてスポーツの世界もまた同様に変わりつつあります。スポーツ実況で有名な工藤三郎さんという方がある講演の中で話されています。工藤さんはNHKでオリンピックなど歴史的な名シーンでの感動を私たちに伝えてきてくださっている方です。次がその主な内容になります。

最近の日本のスポーツが変わってきたなと思うことがある。サッカーのワールドカップで、日本がドイツとスペインに勝つとは思わなかったし、WBCがこんなに盛り上がりとは思わなかった。さらに、そこで活躍する選手たちが昔のスポーツ選手たちとは違ってきているなということを感じる。



「コロナが終わったあと」というくくりで、そうした変化を感じたのが高校野球である。一昨年の夏、全国高校野球選手権優勝の仙台育英高校、須江航監督のインタビューは高校野球ファンだけでなく、多くの人の共感を生んだ。とにかく心の底から、日々の生活からの実感を選びすぐった言葉を使いながら話してくれた。

初の東北勢による「全国制覇」という「変化」だけでなく、監督の他の言葉からも「高校野球の変化」を感じることができた。須江監督が2018年の監督就任時から言い続けてきたスローガンが「日本一からの招待」である。「勝ち取る」から「招かれる」という表現。

監督が言うには、全国大会で勝つということは「全ての取組が日本一に相応しいレベルに至ったとき日本一から招かれる」という考え方だ。

自分の勝手な解釈だが、「勝利至上主義」といわれるが、そこから抜け出す、勝利を捨てるわけではなく勝利に向かうまでのプロセスを大事にしようということだと思う。

※さらに深い内容に続きますが省略させていただきます。

そして、工藤さんは今、進んでいる「変化」を次のようにまとめておられます。

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| ○ 勝利至上主義からプロセス重視へ | ○ 根性論より科学的知見 |
| ○ 指示・命令の指導から自主性の尊重（傾聴力） | ○ トーナメントよりリーグ戦へ |
| ○ 都市から地域へ | ○ ジェンダー平等 |
| ○ 伝わる言葉と聞く力（コミュニケーション能力） | |

これからも「変化」を続けていくスポーツと教育に関心や期待をもっていたいと思います。最後にWBC野球の世界大会、監督の栗山英樹さんがよく色紙に書かれているのが「夢は正夢に」という言葉だそうです。なりたい自分を想像して、そんな自分にたどり着くために行動を積み重ねていく、このプロセス重視の考え方は素敵だと思います。

＜曾於地区中学校総合体育大会 結果＞

本校は、8つの競技で曾於地区中学校総合体育大会に出場しました。どの競技も全力で頑張りました。県大会出場権を獲得した部活動、この大会で三年生が引退する部活動とあると思いますが、今まで部活動を通して学んだことやこの大会で経験したことを今後活かしてください。

卓球  男子団体3位 個人3位 ※ 県大会出場
女子団体3位 個人 3位 9位 10位 ※ 県大会出場

(7月23日(火)～24日(水)：いちき串木野市総合体育館)

女子ソフトテニス 団体 優勝 ※ 県大会出場 個人 2位 ※ 県大会出場



(7月22日(月)～24日(水)：東開コート)

女子バレー 優勝 全勝 ※ 県大会出場 (7月24日(水)～26日(金)：南栄リース桜島アリーナ 串良平和アリーナ 垂水市中央運動公園体育館)

弓道 男子 団体1位 ※ 県大会出場 女子 団体3位 男子 個人 2位 (7月22日(月)～23日(火)：県総合体育センター武道館弓道場)

剣道 団体 敗戦 個人 男子 3位 ※ 県大会出場 女子 4位 ※ 県大会出場



(7月23日(火)～24日(水)：吹上浜公園体育館)

野球 優勝 ※ 県大会出場 (7月22日(月)・23日(火)伊集院球場 ビーラインスポーツパーク始良球場 薩摩川内球場 湯之元球場)

男子バスケット 大隅 58-56 末吉 大隅 37-69 志布志 2位 優秀選手賞

サッカー 0-1 (対 志布志) 0-2 (対 有明) 0-1 (対 宇都) 0-1 (対末吉)

～お詫び～

先月号でお知らせしました地区陸上の結果に誤りがありました。訂正してお知らせします。申し訳ありませんでした。

共通男子 走幅跳 2位 (2年男子と誤記載)

低学年男子4×100mR 3位 (記載漏れ)

曾於市小・中学校連絡会(大隅地区)

6月5日(水)に大隅中学校区の小学校6校の先生方を大隅中に招き、曾於市小・中学校連絡会(大隅地区)を行いました。全てのクラスの授業のフリー参観後、3つの分科会(学習指導・生徒指導・特別支援教育)に分かれて大隅中校区の児童・生徒について話し合いをしました。生徒たちは授業に集中して取り組んだり、成長した姿をみせたりすることができました。大隅の子供たちが健全に成長していくための連絡会にしていければと思います。

体験活動を通して

5月21日(火)から3日間、3年生は職場体験学習、2年生は修学旅行、1年生は21日(火)から22日の二日間で宿泊学習を行いました。3年生は、職場体験後は、表情が変わった生徒も多く、働くことの意義を実感した様子でした。普段の保護者のサポートのありがたさにも気づいたことでしょう。2年生も、たった3日間見なかつただけでしたが、帰ってきた時の表情を見ると、一回り大きくなって帰ってきたように感じました。1年生も、1泊ではありますが、貴重な体験をしたことで、仲間との絆も深まったのではないのでしょうか。中学生活の中で、体験を通し学んだことは、長い人生の中でもとても大きな学びと繋がります。感じたことを今後の学校生活の中に活かしていってほしいです。



スクールカウンセラー来校日

新留 巨樹(しんとめ なおき)臨床心理士が、7月5日(金)の午前と7月29日(月)の午前に、森吉 里奈(もりよし りな)先生が12日(金)に来校されます。生徒や保護者の皆様の様々な相談に乗ってくださいます。面談を希望される方は、事前に教頭(児玉：482-0024)までご連絡ください。

＜ 行事予定 ＞

7月の主な行事

1日	月	文化祭りハーサル 全国交通安全週間	14日	日	県民の日
3日	水	授業参観・PTA	15日	月	⑧海の日
9日	火	第1回学校運営協議会	19日	水	大掃除 終業式 県総体激励式
10日	水	第20回文化祭 合唱コンクール お弁当の日	20日	土	県中学校総合体育大会(～26日)
11日	木	教育相談・三者面談(～6/30)	24日	水	県音楽コンクール「夏の祭典」
13日	土	土曜授業 こころ元気タイム	29日	月	県吹奏楽コンクール租県民の日

* 10日(水)の第20回文化祭・合唱コンクールは末吉総合センターで行います。